

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 13 号

第 13 週(3月24日～3月30日)

発行年月日:平成20年(2008年)4月4日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

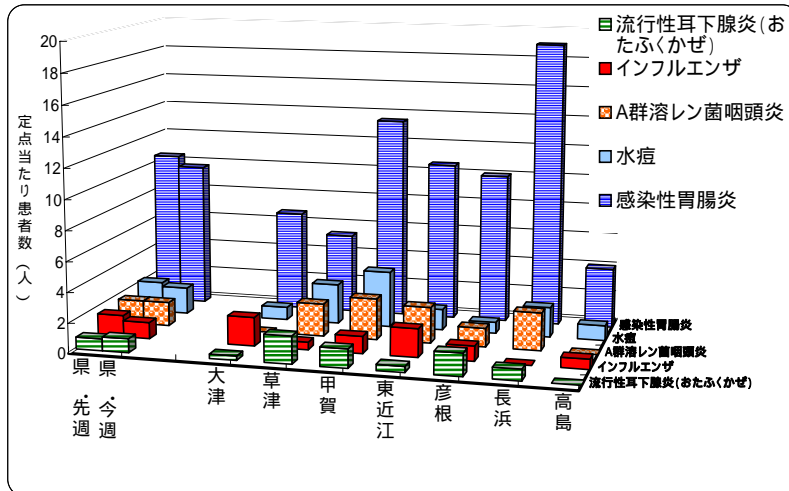
感染症発生動向調査におけるウイルス病原体情報

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は前週の報告数よりさらに少なくなっています。今週増加した疾患は伝染性紅斑(リンゴ病)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、マイコプラズマ肺炎等で、減少した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘等です。(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、A群溶レン菌咽頭炎では長浜保健所管内で警報継続基準値(定点当たり患者数2.0人)を超えています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で7名、五類感染症の劇症型溶血性レンサ球菌感染症で1名および後天性免疫不全症候群で1名の届出がありました。

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第13週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、インフルエンザ、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の順に多くなっています。感染性胃腸炎は彦根および長浜で先週より増加し、長浜でかなり多く発生しています。水痘は甲賀で多くなっています。

感染症発生動向調査におけるウイルス病原体情報(検体採取月:平成19年1月～平成20年2月)

疾患名	検出されたウイルス型	検体由来人数							材料	
		平成					平成20年			
		1～7月*	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
インフルエンザ	インフルエンザウイルス AH1型					1	2	8	5	咽頭ぬぐい液
	インフルエンザウイルス AH3型	31								
	インフルエンザウイルス B型	9						1		
感染性胃腸炎	A群ロタウイルス							1		便
	ノロウイルス						6			
咽頭結膜熱	アデノウイルス 3型	1								咽頭ぬぐい液
ヘルパンギーナ	コクサッキーウイルス A10型	2								咽頭ぬぐい液
	アデノウイルス 4型			1						
ヘルパンギーナおよび無菌性髄膜炎	エコーウイルス30型		1							咽頭ぬぐい液
無菌性髄膜炎	エコーウイルス30型		1	2	2					髄液、尿
	コクサッキーウイルス B5型	1		2	2					
	コクサッキーウイルス B1型				1					

*:平成19年1～7月の詳細については、滋賀県感染症情報(SIDR)第7巻第34号に掲載

上記の表に示した疾患以外の病原体情報

平成19年8月～平成20年2月に、病原体定点において採取された上気道炎患者の咽頭ぬぐい液からコクサッキーウイルスB5型およびエコーウイルス30型が1件、アデノウイルス5型が1件検出されています。また、急性胃腸炎患者の糞便からノロウイルスが5件検出されています。

*滋賀県ウイルス検出情報の詳細については、滋賀県感染症情報センターのホームページ(ウイルス検出情報)
<http://www.pref.shiga.jp/e/ef45/kansen-c/byougentai.jyouhou.html>
に掲載しています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (13週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (13週)	全国 (13週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	7	57	5,323	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	75	^{(*)2} 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	0	2	236	55	4,586
四類感染症	パラチフス	0	0	6	1	22
	E型肝炎	0	0	12	1	54
	A型肝炎	0	0	47	1	154
	デング熱	0	1	13	1	89
	マラリア	0	1	9	1	52
五類感染症	レジオネラ症	0	2	180	8	655
	アメーバ赤痢	0	1	189	15	781
	ウイルス性肝炎	0	1	46	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	30	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	33	1	96
	後天性免疫不全症候群	1	3	313	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	18	1	56
	梅毒	0	1	173	2	714
	急性脳炎	0	0	60	2	216
	風しん ^{(*)3}	0	0	108	-	-
麻しん ^{(*)3}	0	1	5,083	-	-	

*1:平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分1件を含み増す。

*3:平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ;定数把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第13週(3/24～3/30) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核 258例	三類感染症: 細菌性赤痢 4例	腸管出血性大腸菌感染症 14例	コレラ 1例	腸チフス 2例	四類感染症: E型肝炎 1例	四類感染症: A型肝炎 2例	デング熱 1例	マラリア 1例	レジオネラ症 6例	五類感染症: アメーバ赤痢 10例	ジアルジア症 2例	梅毒 7例	急性脳炎 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 13例	クロイツフェルト・ヤコブ病 3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例	風しん 4例	麻しん 333例
-------------	----------------	-----------------	-----------------	--------	---------	----------------	----------------	---------	---------	-----------	-------------------	-----------	-------	---------	-----------------------	------------------	-------------------	--------------------	--------	----------

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第8～13週, 2/18～3/30)

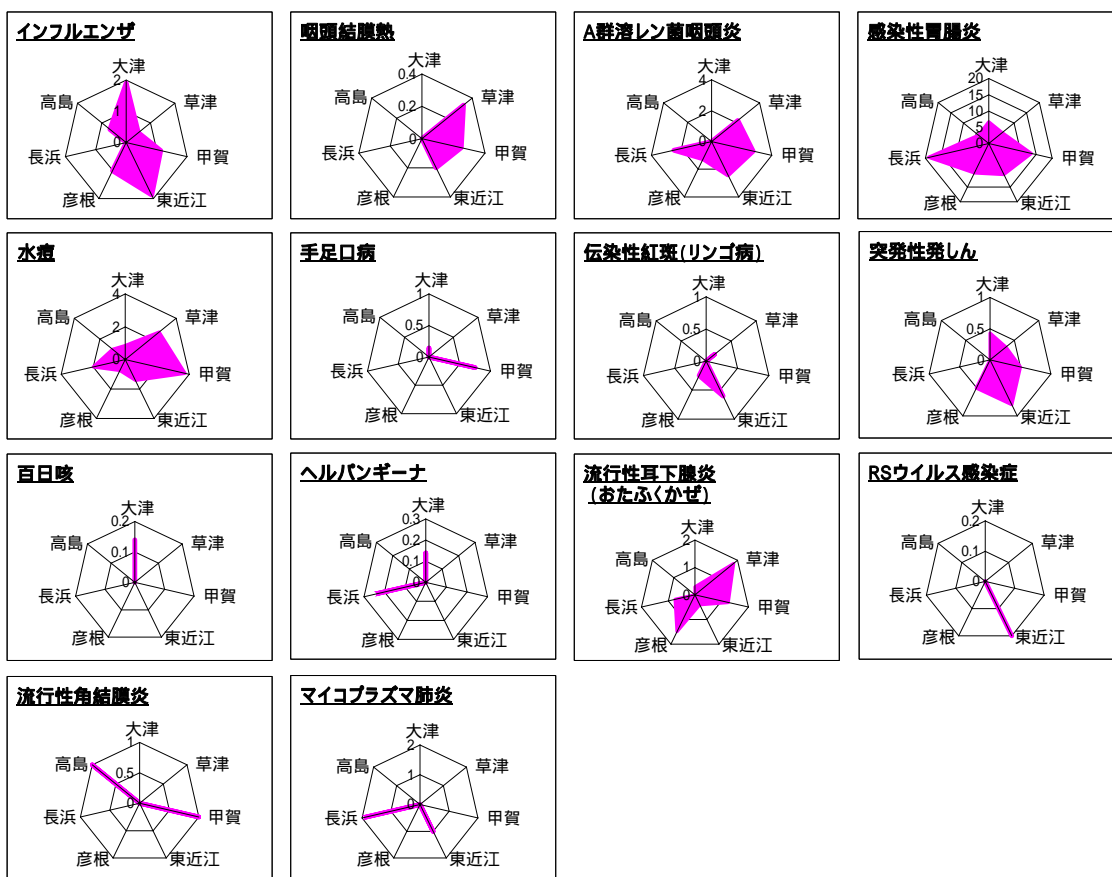
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	8週 (2/18～)	9週 (2/25～)	10週 (3/3～)	11週 (3/10～)	12週 (3/17～)	13週 (3/24～)	9	10	11	12	13
インフルエンザ	7.79	5.21	4.23	2.74	1.45	1.09					
RSウイルス感染症	0.09	0.22	0.16	0.09	0.03	0.03					
咽頭結膜熱(プール熱)	0.16	0.38	0.31	0.38	0.31	0.13					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.03	1.44	2.09	1.78	1.59	1.59					
感染性胃腸炎	8.53	8.47	9.38	10.31	10.41	9.69					
水痘	1.50	2.00	1.53	1.88	2.06	1.78					
手足口病	0.03	0.09	0	0.03	0.13	0.13					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0.06	0.06	0	0.16					
突発性発しん	0.28	0.56	0.44	0.47	0.50	0.41					
百日咳	0	0.03	0	0.03	0	0.03					
ヘルパンギーナ	0.03	0.03	0.09	0.03	0	0.06					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.63	0.31	0.41	0.78	0.78	0.91					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.14	0.43	0.43	0.57	0.29	0.29					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0.14	0.29	0	0	0.43					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第13週、3/24～3/30)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	1.09	1.91	0.50	1.14	1.88	1.00	0	0.67	
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.13	0	0.33	0.25	0.20	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.59	0	2.17	2.75	2.40	1.25	2.50	0	
感染性胃腸炎	9.69	6.71	5.33	13.50	10.60	10.00	19.00	4.00	
水痘	1.78	0.86	2.67	3.75	1.40	0.75	2.00	1.00	
手足口病	0.13	0.14	0	0.75	0	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.16	0	0.17	0	0.60	0.25	0	0	
突発性発しん	0.41	0.43	0.33	0.50	0.80	0.50	0	0	
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.06	0.14	0	0	0	0	0.25	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.91	0.29	1.83	1.25	0.40	1.50	0.75	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0	0	1.00	0	0	0	1.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.43	0	0	0	1.00	0	2.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

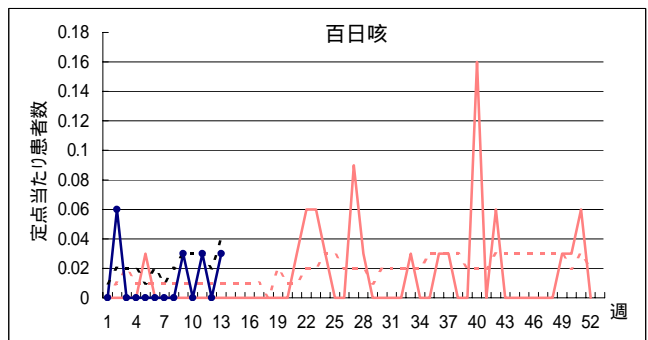
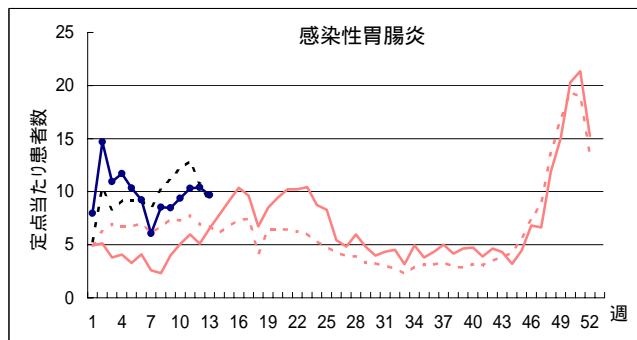
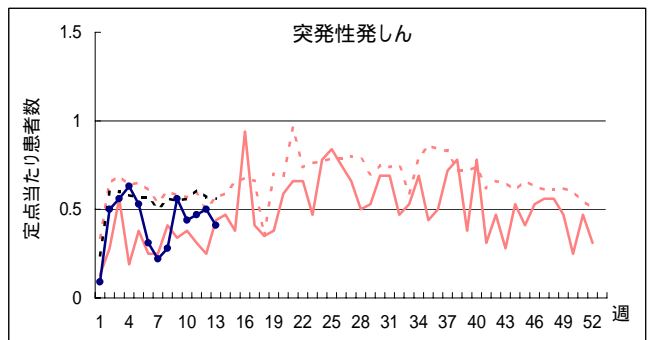
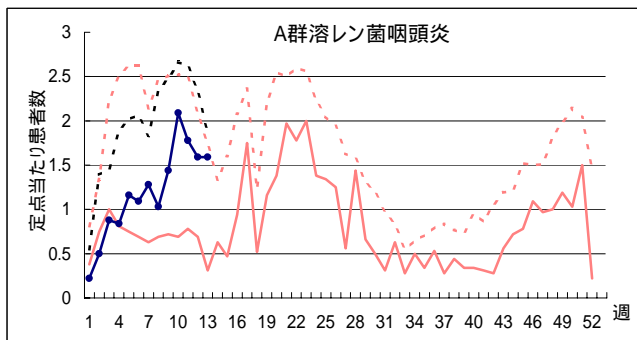
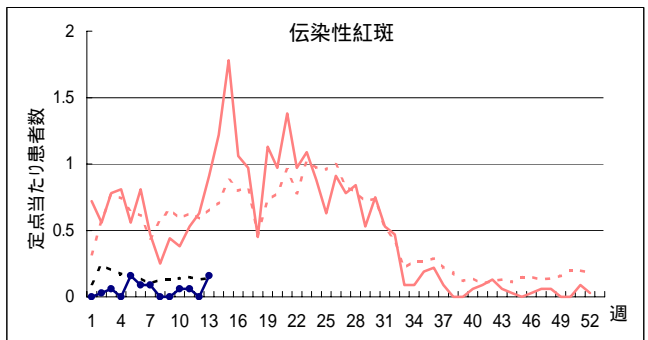
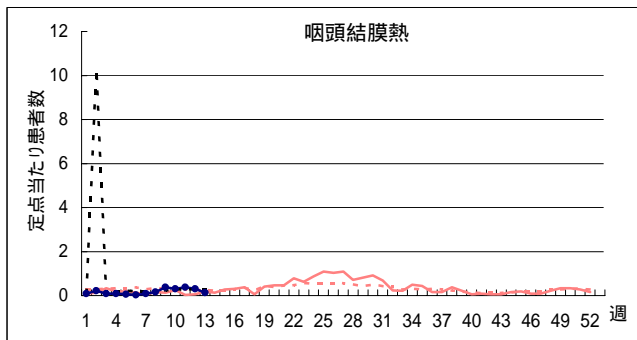
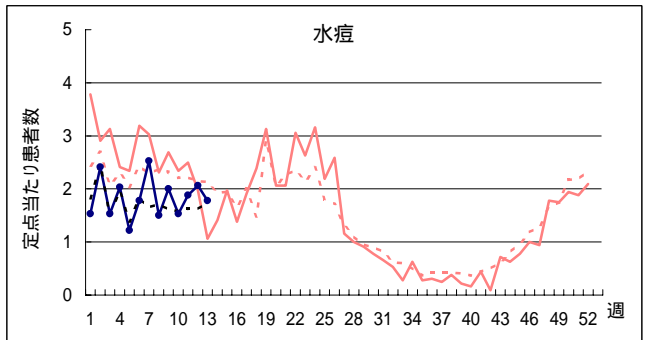
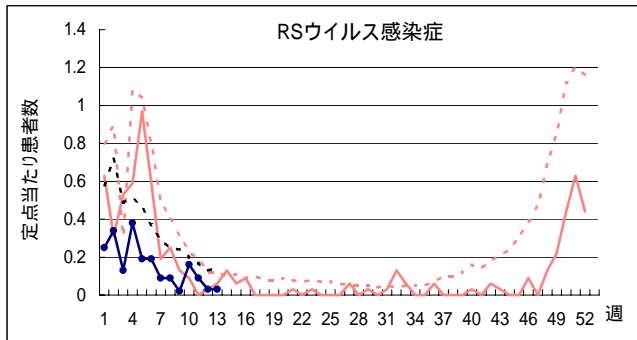
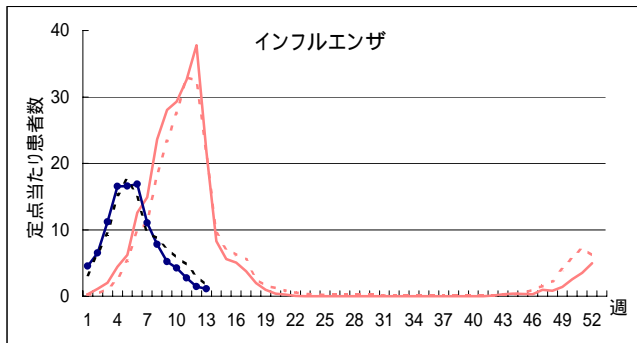
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



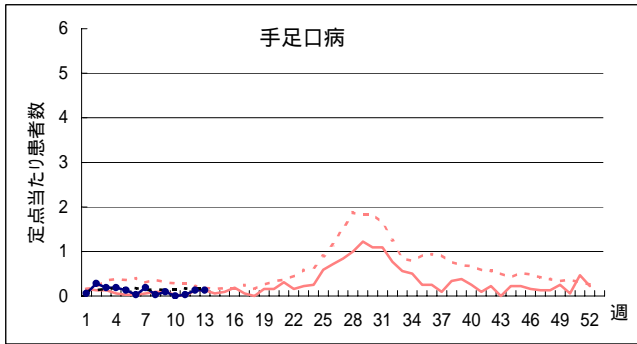
今週の発生状況：

- インフルエンザ-----県全体では先週より減少していますが、甲賀、彦根および高島で先週より増加しています。また、東近江では定点当たり患者数が1.88とやや多くなっています。
- A群溶レン菌咽頭炎----甲賀および彦根で急増しています。また、長浜では先週に引き続き警報継続基準値(2.00)を超えています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週より減少していますが、長浜では先週よりさらに増加し、定点当たり患者数は19.00と多くなっています。
- 水痘-----先週多かった東近江で減少し、注意報基準値(4.00)以下となりました。

疾病別定点当たり患者数(平成20年第13週、H19.12.31~H20.3.30)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第13週、H19.12.31～H20.3.30)



H19 { 滋賀 ————
 全国 - - - - -
 H20 { 滋賀 ●●●●●
 全国

